

当クリニックにおける肺炎球菌ワクチンの 接種状況と副反応および再接種の状況

大久保内科呼吸器科クリニック
○深澤一裕 大久保修一

背景

1988年から23価肺炎球菌ワクチンの接種が開始され、ワクチンの有効期間を5年と考えると再接種の検討が必要となっている。

方法

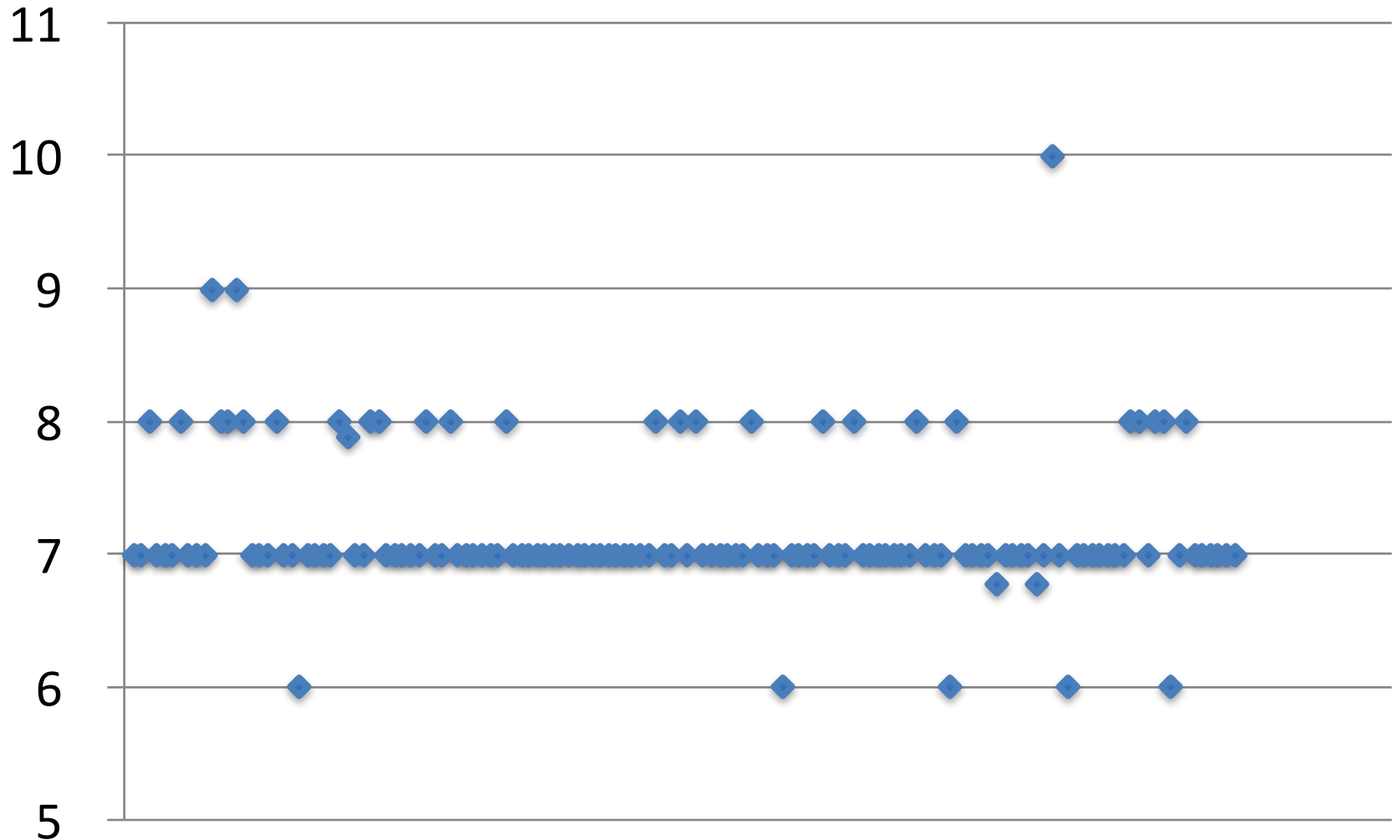
慢性疾患を持ち当クリニックに定期通院する患者のうち2002年から肺炎球菌ワクチン接種を受けた患者541人、再接種を受けた患者140人の副反応出現状況を調査した。

肺炎球菌ワクチン接種患者

- 総患者数541人のうち、副反応等の状況が聴取されたものの402人。男性135人、女性267人。
- ワクチン1回のみ接種患者は262人。平均年齢74歳。
- 再接種患者は140人。初回接種時平均年齢72歳。2回目接種時の平均年齢は79歳。
- 初回からの経過年数は6から10年で平均7年。

肺炎球菌ワクチン再接種状況

初回接種からの年数



2回接種患者(140人)の副反応出現率

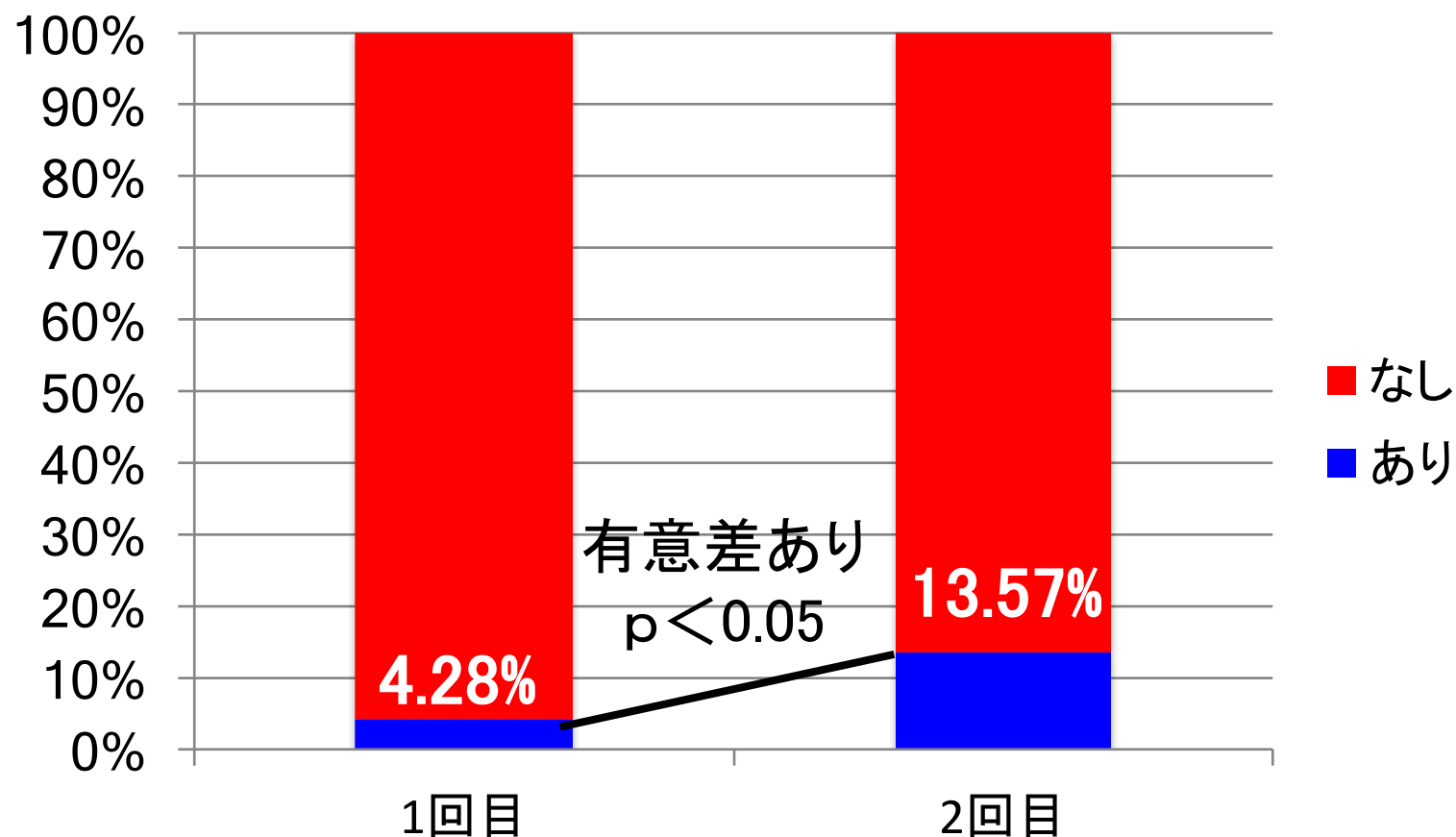
副反応	なし	あり	出現率
1回目	134人	6人	4.28%
2回目	121人	19人	13.57%

オッズ比 3.51 ($1.36 \leq OR \leq 9.07$)

$p < 0.05$

* 当クリニックでのインフルエンザワクチン
副反応出現率 13.8% (2000年)

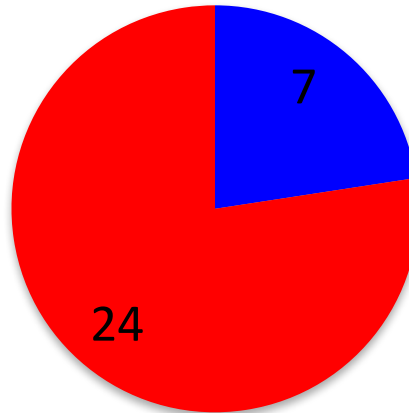
2回接種患者の副反応出現率



オッズ比 3.51 ($1.36 \leq OR \leq 9.07$)

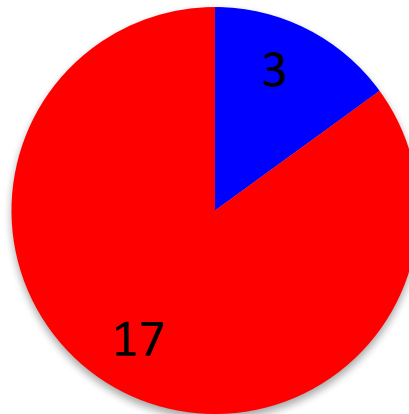
初回・再接種時の副反応 全身・局所症状

初回



■ 全身
■ 局所

再接種

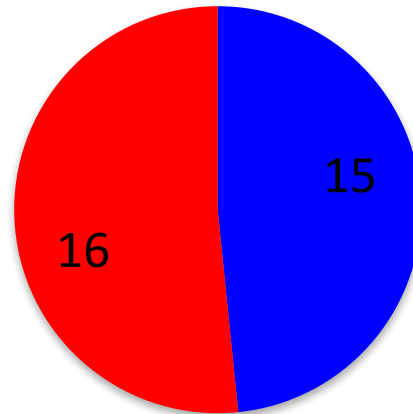


■ 全身
■ 局所

再接種時に重篤な全身症状の割合は増えていない

初回・再接種時の副反応 局所症状の程度

初回

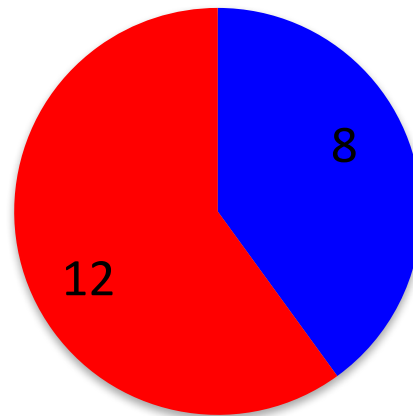


■ S

■ M

M＝軽症3日以内
発赤10cm以内
S＝重症(M以上)

再接種



■ S

■ M

再接種時に重篤な局所症状の割合は増えていない

初回および再接種での副反応

初回接種541名(%) 再接種135名(%)

副反応持続日数		0-3日		4日以上	
		初回接種	再接種	初回接種	再接種
局所反応	発赤、腫脹(10cm未満)	10(2.5)*	19(14.1)*	10(2.5)	4(3.0)
	硬結、疼痛			3(0.7)	3(2.2)
	発赤、腫脹(10cm以上)				
全身反応	全身倦怠	3(0.7)	1(0.7)	1(0.2)	
	発熱		2(1.5)		
	全身しびれ感	1(0.2)			
	頭痛			1(0.2)	

*=有意差有り p<0.001

接種3日目以降の副反応発現頻度は 再接種群と初回接種群で差はなかった

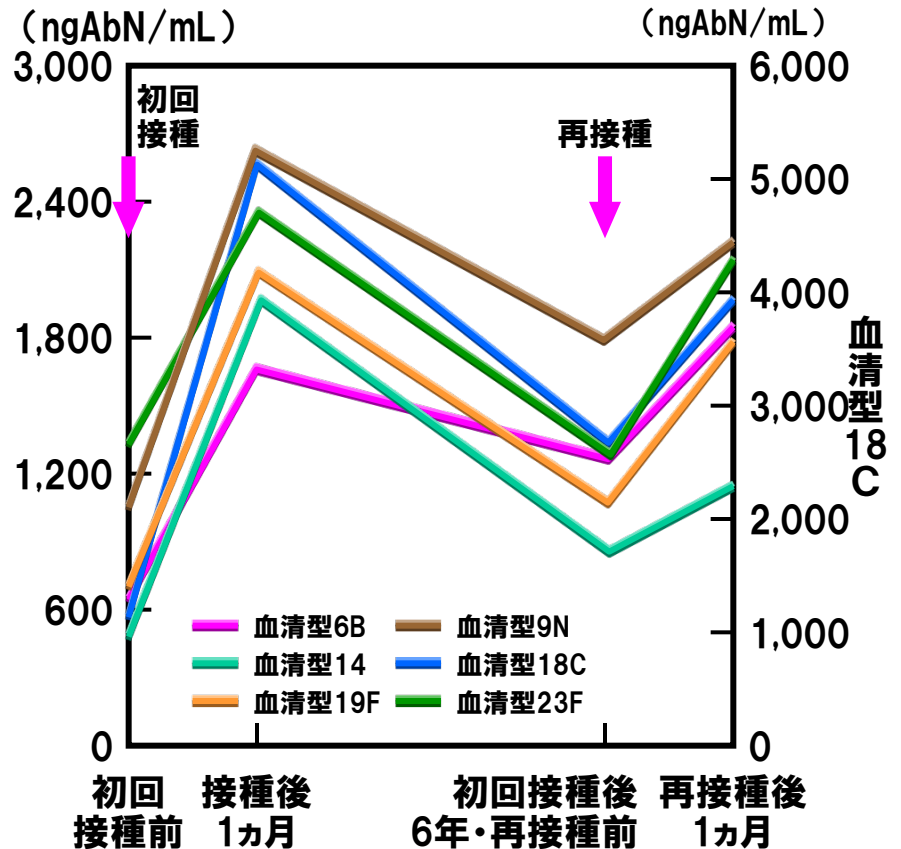
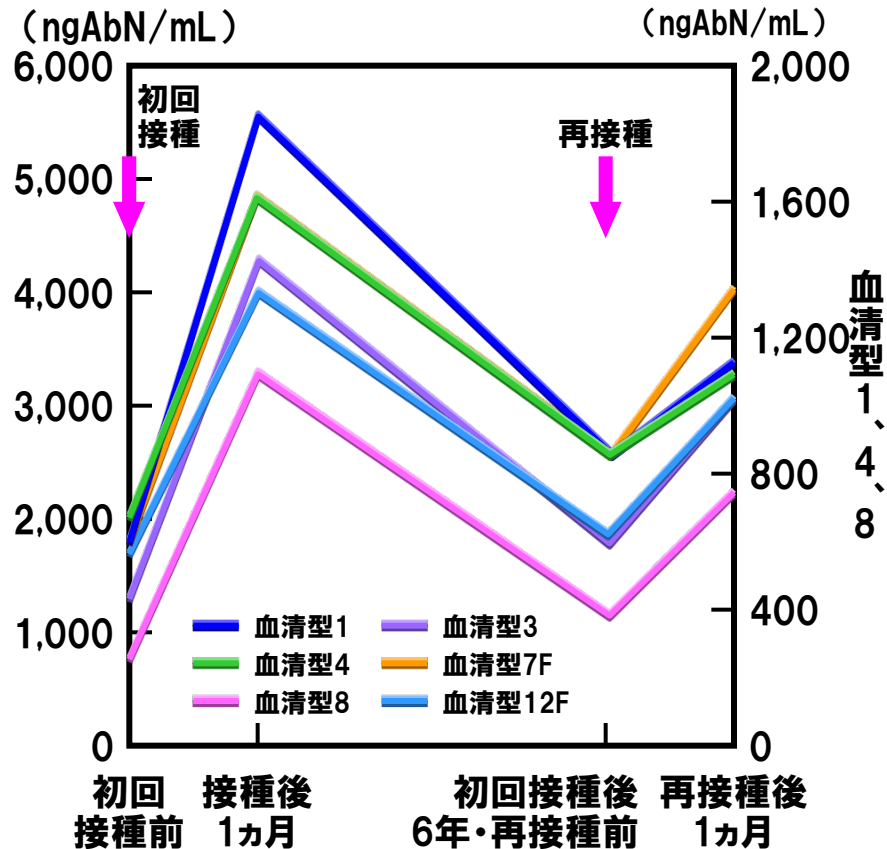
- 再接種群の局所反応の頻度は初回接種群より有意に高かったが、3日以上経過すると頻度に差はみられなくなった。
- 全身性反応は初回接種群と再接種群で発現頻度に差はなかった。
- 接種による重篤な副反応は発現しなかった。

副反応	0-2日		3-6日	
	初回接種群 (%)	再接種群 (%)	初回接種群 (%)	再接種群 (%)
主な局所反応				
• $\geq 10.2\text{cm}$ の発赤、腫脹	3	11*	1	2
• 腕を頭上に上げることができない	3	10*	0.1	0.2
主な全身性反応				
• 筋肉痛	9	10	7	7
• 37.5°C 以上の発熱	8	10	7	7
• 38.6°C 以上の発熱	0.4	1	0.2	1

*: $p < 0.01$ (t検定)

初回接種群901人、再接種群513人(再接種群:初回接種から5年以上経過)

再接種後の抗体反応



対象:56-79歳の成人 (n=15)

方法:接種前、14価肺炎球菌ワクチンで初回接種後1ヵ月時、初回接種から6年経過時、23価肺炎球菌ワクチンで再接種後1ヵ月時の抗体価をRIA法で測定

血清型1、4、8、18Cは各々の図の右側の単位を使用する。

Mufson M A et al. *Vaccine* 1991; 9(6): 403-407.より作図

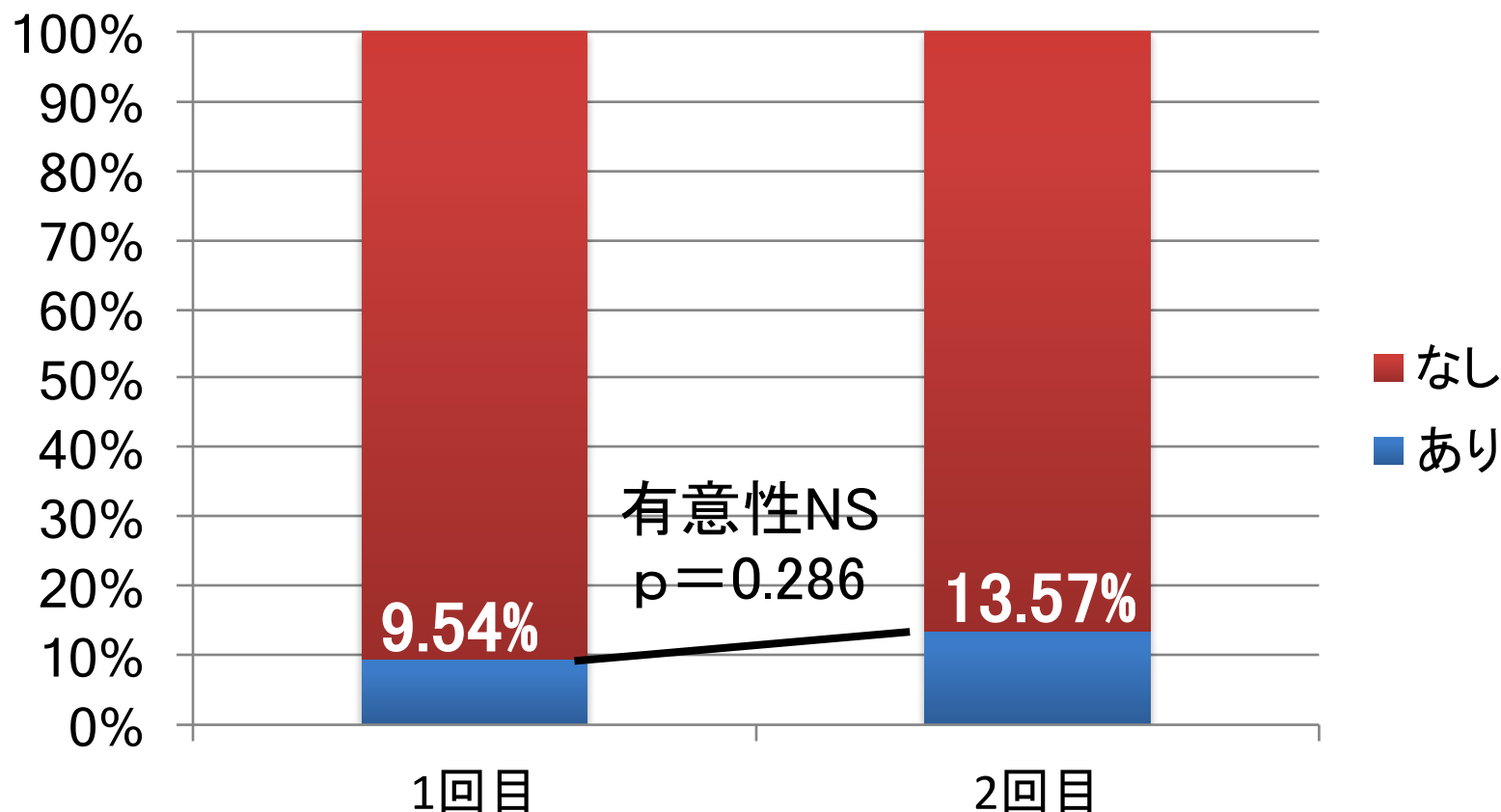
初回のみ接種患者(262人)の副反応出現率と 再接種患者(140人)の再接種時副反応出現率

副反応	なし	あり	出現率
初回のみ	237人	25人	9.54%
再接種	121人	19人	13.57%

有意性NS $p=0.28679$

オッズ比 1.489 ($0.788 \leq OR \leq 2.810$)

初回のみ接種患者と再接種患者の 副反応出現率



オッズ比 1.489 ($0.788 \leq OR \leq 2.810$)

結 語

- 23価肺炎球菌ワクチンの再接種の副反応は局所反応の増加を認めるが、重篤のものは出現せず許容される範囲と考えられた。
- 今後は再々接種の必要な患者も増加してくる。他施設での報告に注目し、当クリニックでも症例を集積し報告していきたい。